

第 74 回仙台市中学校総合体育大会 軟式野球競技要項

1 期 日 令和 7 年 6 月 1 4 日（土）・1 5 日（日）・1 6 日（月）

2 会場と日程（予定）

地区	大会会場	14 日（土）	15 日（日）	16 日（月）	17 日（火）	18 日（水）
東地区	仙台市民球場	○③	○②	○②	予備	予備
	海岸公園野球場①	○③	○②	予備	予備	×
	海岸公園野球場②	予備	予備	予備	予備	×
西地区	宮城広瀬球場	○③	○②	○②	予備	予備
	桜ヶ丘公園野球場	○②	○②	予備	予備	×
	今泉野球場	予備	予備	予備	予備	×
南地区	評定河原公園野球場	○③	○②	○②	予備	予備
	湯元公園野球場	○③	○②	予備	予備	×
	卸町東二丁目公園野球場	予備	予備	予備	予備	×
北地区	シェルコムせんだい	○③	○②	○②	予備	×
	七北田公園野球場	○②	○②	予備	予備	予備
	将監公園野球場	予備	予備	予備	予備	予備

3 競技規則

2025 公認野球規則，公益財団法人全日本軟式野球連盟競技者必携及び市中体連野球専門部の申し合わせ事項による。

4 大会規則

〔1〕 競技方法

i) 競技に関する事項

- (1) トーナメント方式 7 イニング制とする。
- (2) 5 回以降 7 点以上差がついたときは，コールドゲームを宣言する。
- (3) 正式試合は，通常 7 イニングから成る。
- (4) 試合の時間制限は行わない。
- (5) 暗黒・降雨などで試合が途中で中止になった場合，原則として再試合にしないで，翌日の第 1

試合に先立って特別継続試合を行う。また、試合の中断及び日程の変更は大会本部で決定する。

(6)指名打者ルールは採用しない。

(7)特別ルールについて

延長戦は行わず、8回より次のような特別延長戦（タイブレーク）を行う。

《特別延長戦》（タイブレーク）

①7回終了時点からの継続打順で攻撃を行う。走者は、先頭打者の前打者を1塁走者とし、2塁走者は順次前打者として、無死1・2塁の状態ですべて1イニング行い、得点の多い方を勝ちとする。なお、勝敗の決しない場合には、以後も継続打順で勝敗が決するまでこれを繰り返す。

②選手の交代等は通常の規定がそのまま適用される。

(8)攻守交代は全力疾走で行い、先頭打者とランナーコーチはミーティングに参加せず、直ちに所定の位置に着くこと。

(9)攻守交代の時、投手またはプレートに最も近い野手が球を投手板近くに置くこと。

(10)試合中の球場内では、次打者以外は素振りなどをしてはいけない。その際、投手の投球が始まったら、次打者席で待つこと。

(11)投手の準備投球は、初回と投手交代の時は7球以内とするが、2回以降は4球または3球とする。また、捕手、予備捕手は安全のためマスクをかぶる。

(12)スパイクは白または黒の単色とする。チーム内で白と黒が混在することを認める。ゴムポイントのスパイクの使用は認める。

（ただしシェルコムせんだいでは金具のスパイク以外のシューズを使用することとする）

(13)金属バットについては、J S B Bのマークの入った公認されたものとする。

(14)ユニフォームは同一系統色とし、派手なものは避ける。

(15)捕手のレガース・プロテクター・ヘルメット・マスク・ファールカップはつけるものとする。

また、控え捕手も同様の装備をする。

(16)打者・走者・次打者のヘルメット（両耳用）はつけるものとする。また、ボールパーソン・ランナーコーチも同様の装備をする。

(17)メガホンのベンチ持ち込みは1個とし、監督のみ使用を認める。

(18)試合終了後のあいさつで全て完了とし、次の試合のために速やかにベンチをあける。

(19)試合進行上、無用なタイムは慎み、サインは打者席から見るなどスピーディーな試合進行を心がける。

(20)本塁打を打った打者に握手を求めるためにグラウンドに出てはいけない。

(21)用具は必ず規定のものを使用し、自軍のベンチ内におく。（バットリング、鉄棒等の禁止）

(22)投手は1日7イニングを越えて投球することはできない。ただし、タイブレーク及び特別延長試合は除くものとする。

(23)健康上の理由及び球場の条件によって、選手のサングラスの使用を認める。

※試合前（打順表提出時）に主催者・審判員に申し出て許可を得た場合に限る。

(24)ベンチ内での電子機器類（携帯電話、パソコン等）の使用を禁止する。

ii) 運営に関する事項

- (1) 1 チーム 9 名からの参加を認める。
- (2) 出場校は、定刻 1 時間前に会場に集合し、本部に通告すること。
- (3) 試合前のフィールディングは原則として 7 分以内とする。(天候等で省略・短縮する場合もある)
- (4) メンバー表は、第 1 試合は試合開始予定時刻の 40 分前に、第 2 試合目以降は試合開始予定時刻 1 時間前に 5 通(アナウンス、対戦チーム、審判、本部、自チームの計 5 通)を本部に提出する。
- (5) プレーヤーズベンチには、登録されたものの他は、着席を認めない。

なお、監督は背番号 30 を着用する。着用している場合はダイヤモンド内に入ることができない。コーチの服装はユニフォームまたは正装とし、ユニフォームの場合は背番号 29・28 を着用する。部長の服装は正装とする。

※当該校教職員以外でも、学校長や学校設置者の承認を得たものに限り、外部コーチの登録を認める。

- (6) 登録選手は、ポジション順に背番号をつけること。
- (7) 1, 3 塁コーチは、ユニフォーム着用の選手に限る。
- (8) 選手交代の通告は監督が行う。

※試合中に監督が 1 試合に投手のところへ行ける回数は、7 イニングに 3 回以内とする。また、捕手または野手が、1 試合に投手のところへ行ける回数は 7 イニングに 3 回以内とする。なお、特別延長戦の場合は 1 イニングに 1 回とする。野手(捕手を含む)が投手のもとへ行った場合、そこへ監督が行けば、双方 1 回として数える。逆の場合も同様とするが、投手交代の場合は、監督の回数には含まない。

- (9) 攻撃側のタイムは、7 イニングに 3 回までとする。なお、特別延長戦の場合は、1 イニングに 1 回とする。
- (10) 審判員に対しての規則適用上の疑義については、当事者と監督のいずれか 1 名が直接質問することができる。
- (11) 故意に試合の進行を妨げるような行為は絶対しないこと。
- (12) 選手の頭髪、身なりなどは中学生らしく、試合中はもちろんのこと、試合の前後においてもスポーツマンらしくマナーには十分留意すること。
- (13) 各チームの部長か監督は、球場を去る前に本部に連絡し、次の試合日程の確認を行うこと。
- (14) 登録選手の変更は、校長の理由書をつけて、大会 2 日前までに委員長に提出し、部会長の許可を得る。
- (15) 不祥事を起したチームは、紛争処理委員会の裁定に基づいて年間の大会出場を停止する場合もある。

(注 1 : 紛争処理委員会は、会長、理事長、部会長、正副委員長、正副審判長で構成する)

(注 2 : 規則 3.03 原注 : 「投手は 1 イニングで投手以外の守備に 2 度以上つくことは許されない」については今大会では適用しない。

〔２〕 申込み方法

仙台市中体連のホームページより申込み用紙をダウンロードし、中総体の抽選会にて申込みをする。

〔３〕 選手登録

- (1) 監督 1 名，コーチ 2 名，部長 1 名，選手 18 名，スコアラー 1 名（男女は問わないが，生徒に限る）

※監督 1 名および部長は当該校校長・教員・部活動指導員，コーチは当該校教職員，部活動指導員，または学校長が承認した外部コーチとする。部活動指導員が監督登録する際には，「部活動指導員確認書」の写しを，外部コーチを登録する際は，外部コーチ承認届けを登録と同時に提出すること。他連盟所属（プロ・高野連・大学野球連盟・リトル・シニアリーグ等）のコーチ登録は認めない。

※女子選手の出場も認められる。

※他連盟登録の選手の出場は認めない。（二重登録の防止）

※部員として所属している他連盟登録選手について，登録（スコアラー含む）は不可だが，その他登録外選手と同様にボールパーソン・補助員を行うことは認める。

※スコアラーは学校指定の奨励服・標準服を着用すること。

※シートノックの際に補助員として選手以外に 5 名までグラウンドに入ることができることとし，補助員は背番号を付けないユニフォーム（練習用でも可）を着用し，ヘルメットを被ることとする。

- (2) 合同チームの参加について

原則として単独校のチームでの参加を原則とするが，仙台市中学校体育連盟「複数校合同チーム参加規程」により合同チームの参加を認める。

〔４〕 使用球

全日本軟式野球連盟公認の M 号球

〔５〕 県大会出場枠

第 74 回宮城県中学校総合体育大会への出場枠は下記の通りとする。

東地区	西地区	南地区	北地区
2	2	2	2

各地区各ブロック優勝校に県大会出場権が与えられる。

〔６〕 その他

- (1) 審判

宮城県野球連盟 審判部